

年度:2019年 LOM番号:0072

【褒賞申請書】

事業名称	2018年度8月第1・第2・第3例会 「第39回山形大花火大会 『満天』～百花が織りなす光の饗宴～」
カテゴリー	最優秀LOM長期型地域社会開発プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック協議会公益社団法人山形青年会議所
LOMの人数	104名
理事長名	近藤 英雄
担当者名	安藤 太一郎
担当者携帯番号	担当者 小林 一也 E-Mail <a href="mailto:kobakazu60@yahoo.co.jp">kobakazu60@yahoo.co.jp</a> TEL 090-4313-7396
事務局住所	山形市七日町2丁目1-3プラザビル七日町3階
事務局TEL	事務局FAX 023-644-2219

本事業の参加者	会員数	110名
	関係者数	99名
	一般参加者数	約40,000名

事業実施に至る背景 400文字程度	<p>●8月第1例会(お天気祭り) 花火大会は、先輩諸兄や市民サポーターの支えなくして継続できるものではありません。大会運営に協力いただく市民サポーター、山形大学JCC、山形JCシニアクラブの先輩諸兄、関係各所の皆様と共に、大会の成功と当日の晴天を祈願する必要があります。</p> <p>●8月第2例会(花火大会) 山形の夏の風物詩として多くの方から支持されてきた山形大花火大会は今年で第39回を迎えます。山形市民が郷土愛をより強いものと認識し、率先してまちづくりに参加する意識を醸成する必要があります。</p> <p>●8月第3例会(早朝清掃) 大会翌日には花火打ち上げの際にでた燃えカスや会場周辺や使用施設にはゴミが多く残っています。大会使用前の状態よりもきれいにしてお返しし、山形市の環境を守るとともに今後も地域住民、町内会、関係各所との良好な関係を構築する必要があります。</p>
----------------------	--

	す。
<b>事業目的</b>  400文字程度	<p><b>【対外目的】</b>  大会成功に向けて、関係者への感謝の意を表し、関係者一同の求心力を高め、モチベーションを向上し、当事者意識を醸成します。  関係者が一丸となって取り組む山形大花火大会を通して、市民をはじめ来場者の皆様にやまがたの夏の風物詩を感動とともに体感していただき、率先してまちづくりに参加する意識とより強い郷土愛を醸成することを目的とします。  大会後は、協力をいただいた企業様・関係施設や地元町内会、地域住民の皆様へ感謝の意を表し、地域の発展、環境にも配慮した未来の山形を見据えた魅力溢れる大会の創造へと繋げる清掃活動を行います。</p> <p><b>【対内目的】</b>  お天気祭りでは、山形JCメンバー全員が、花火大会の目的や意義を深く理解し、関係各所の皆様の期待を感じることで、大会本番へ向かう気持ちを高めます。  第39回目山形大花火大会では、全メンバーが携わり、山形JCが脈々と紡いできた一大事業であることを強く認識し、山形市民の郷土愛を呼び覚ます市民意識変革団体として地域を牽引します。  また、山形JCメンバーは早朝清掃が大会の完了になることを十分に理解し、活動を通して今後の山形の発展に寄与する意識の高いリーダーを育成します。</p>
<b>SDGsの該当項目</b>	(SDGsの該当項目を記載) ①都市 住み続けられるまちづくりを
<b>事業概要</b>  400文字程度	第39回を迎える山形大花火大会は、毎年テーマを定めて事業を実施します。 本年度の大会テーマについて 大会テーマ『満天』～百花が織りなす光の饗宴～ 本年のテーマ「満天」は、山形大花火大会へ来た観覧者の皆様が満天の夜空に打ち上がる花火を満天の笑顔で観覧して帰ってほしいとの願いを込めております。また、山形の観光資源としてまちの発展に大いに寄与し、今後も皆様に支持される花火大会にしたいという思いを込めさせていただいております。
<b>開催期間・ タイムスケジュール</b>	●8月第1例会(お天気祭り):平成30年7月31日(水)18:30～20:30 <b>【タイムスケジュール】</b> 17:00 事前総合説明会 開会 17:10 警備等全体説明会 18:00 来賓、山形JCシニアクラブ受付開始

18:30 式典開会  
18:31 セレモニー  
18:41 神事  
18:51 理事長挨拶  
18:54 来賓紹介  
19:04 花火大会協議会 会長(山形市長)挨拶  
19:07 花火大会協議会 副会長(山形商工会議所会頭)挨拶  
19:10 花火大会協議会 顧問(山形市議会議長)挨拶  
19:13 大会会長賞表彰、感謝状贈呈  
19:30 懇親会開会  
19:31 開会の挨拶  
19:32 余興  
19:47 乾杯  
20:19 挨拶・檄  
20:24 決意表明  
20:31 来賓、山形JCシニアクラブお見送り  
20:50 メンバータイム、監事講評

●8月第2例会(花火大会):平成30年8月14日(火)9:00~23:00

【タイムスケジュール】

06:00 会場備品設置開始  
11:00 安全祈願祭  
12:30 JCメンバー登録開始  
13:00 例会セレモニー  
13:20 最終全体説明会  
14:00 メンバー・ボランティア警備場所へ移動  
15:00 協賛企業読み上げ開始  
15:30 各会場オープン  
19:00 開会セレモニー  
19:15 オープニング花火打ち上げ開始  
19:25 第1部打ち上げ開始  
19:40 第1部終了  
19:45 第2部打ち上げ開始  
20:10 第2部終了  
20:15 第3部打ち上げ開始  
20:30 グランドフィナーレ  
20:40 第3部終了  
21:00 会場各所清掃開始

	<p>23:00 閉会行事後解散</p> <p>●8月第3例会(早朝清掃):平成30年8月15日(水)6:00~9:30 【タイムスケジュール】</p> <p>06:00 開会セレモニー、早朝清掃スケジュールの説明 06:10 打ち上げ会場、駐車場エリア、清掃開始 07:20 警備担当エリア清掃開始 09:00 閉会セレモニー、解散</p>	
開催場所	<p>●8月第1例会(お天気祭り):ホテルメトロポリタン山形 ●8月第2例会(花火大会):山形大花火大会会場(須川河畔反田橋付近) ●8月第3例会(早朝清掃):花火大会打ち上げ会場</p>	
事業区分	継続	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支	<p>予算計:30,008,700円 支出計:30,008,700円</p>	
協力団体	共催	山形市
	協賛	(株)山形新聞社、山形放送(株)、(株)山形テレビ、(株)テレビユー山形、(株)さくらんぼテレビジョン、(株)ダイバーシティメディア、山形コミュニティー放送(株)、(株)エフエム山形、JR東日本山形、(学)山本学園、東北電力(株)、サントリーホールディングス(株)
	後援	
	その他	地元地権者、市民サポーター、山形大学JCC、まちづくり団体サポーター、大学コンソーシアム
事業対象者	<p>対外対象者:一般市民、自治体、行政各団体、地元町内会、市民サポーター、山形大学JCC</p> <p>対内対象者:山形青年会議所メンバー 104名</p>	
行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度	<p>(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入)</p> <p>■総務企画部会 総会、連絡調整会議、地元町内会説明会、実務者反省会の案内並びに運営。 当日までの大会広報、また全体を通しての大会企画を担当致します。 また、当日は山形大学JCC並びに市民サポーターの取り纏め、HP更新による情報発信、また大会プログラムが円滑に進むよう本部付近を担当します。</p>	

	<p>■渉外部会 大会開催に必要な協賛金募集と協賛企画を立案します。街頭募金の実施。各所前売り特別さじき席チケット販売並びに電子チケット販売の管理。また、当日は一般栈敷席の協賛金の受付対応、管理を担当します。</p> <p>■設営防災会 大会が安全で快適な会場の下で開催されるよう、関係各所との協議、測量、火薬消費申請、お祭り協議会との連絡調整、危険区域の確認、テラスターの調整、特別栈敷席の設置など各会場の設営全般を担当します。</p> <p>■警備交通部会 観覧者がスムーズに観覧会場へお越しいただき、混乱なくご帰宅いただけるよう、関係各所との協議、道路使用許可申請、バス・タクシー発着所への使用許可申請、バス運行計画、タクシー運行計画、警備配置計画、歩行導線、緊急車両導線の確保を担当します。</p>
<p><b>結果 (RESULT)</b></p>	<p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>■事業目的に達した点:</p> <p>●8月第1例会(お天気祭り)</p> <p>式典の部においては、山形大花火大会協議会のメンバーの皆様、山形JCシニアクラブメンバーから多数のご出席をいただき、厳かな晴天祈願の神事を執り行うことができました。これにより、関係者一同花火大会成功へ向けて、心を一つにすることができました。また、当日リハーサルを入念に行い、事前総合説明会から式典へのスムーズな移行を実現することができました。</p> <p>懇親会の部においても積極的に交流を図り、出席者より忌憚のないご意見をいただくと同時に、山形JCの花火大会への意気込みをダイレクトにお伝えすることができました。さらに、先輩から心のコもった飛び入りの応援まで頂戴し、参加者の一体感を大いに演出することができました。</p> <p>●8月第2例会(花火大会)</p> <p>【企画】</p> <p>①ドローン空撮、ビジョントラックでの生放送 第39回山形大花火大会の目玉企画として、ドローン空撮映像のビジョントラックでの生放送を企画しました。山形市の夜景と花火のコラボレーションとして募金・協賛活動で告知し、特別栈敷席の購入促進を促し、観覧者の満足度を高めることができました。</p> <p>②360度カメラのストリーミング配信 打上げ会場の中に360度カメラを設置し、ストリーミング配信を行いました。普段は立ち入ることのできない場所から花火を見上げる映像が見ることができ、会場に来</p>

ることができない観覧者の方々も、会場に来たような臨場感で花火を観ることができ、次回は会場で花火大会を観覧したいと思える企画の一つとなりました。

### ③ドローン空撮映像と360度カメラ映像のYouTube配信

YouTubeへ「第39回山形大花火大会」のアカウントを開設し、映像をアップしました。今大会の目玉企画を全世界へ配信することで、山形大花火大会の臨場感を伝えることができ、来場していただいた観覧者の皆様へは夏の思い出を振り返っていただける企画となりました。また、今まで来場されたことのない方々へは山形大花火大会のよいPR映像となり、会場に足を運んでもらえる企画となりました。

ドローン映像 / <https://www.youtube.com/watch?v=aKE9JnDGeK8>

360度カメラ映像1 / <https://www.youtube.com/watch?v=QFE-qPQFcJw>

360度カメラ映像2 / <https://www.youtube.com/watch?v=l53WgiV9lfY>

### ④生歌花火

山形市出身の歌姫、朝倉さやによる大会開催前のステージイベントと花火大会のオープニングを飾る生歌花火を行いました。ステージイベントでは山形の魅力を花火の思い出とともに伝えていただき、生歌花火では「おかえり」と共に花火を打ち上げ、会場の皆様と感動を共有することができ、大会を盛り上げる企画となりました。

### ⑤メッセージ花火

市民参加型花火大会として、花火大会という場所を介して市民の方々から寄せられたあの人に伝えたい熱い想いや、言葉

を花火とともに届け、会場の皆様と感動を共有することができました。

#### 【大会情報の発信】

大会公式ホームページ、Facebook、LINE@を活用し、大会の情報やチケット販売状況を発信しました。ポスター、チラシの情報量を例年より少なくし、QRコードを読み込むことによりどこにいてもインターネット上で確認できるようにしました。よって、例年より大会公式ホームページ内の情報内容を細かく記載することで、より現代的な情報発信を行うことができました。

#### 【会場設営】

本年は昨年度の会場設営を基準により安全な会場設営に務めました。消防関係と例年以上に密な意見交換を行い、例年以上の打上発数を目指し、約24,000発の花火を打ち上げることができました。また、特別栈敷席のスーパーカップル席を400席と昨年より倍増させたにもかかわらず、完売することができました。

#### 【警備・交通】

本年は来場時の場所の間違いと各駐車場の駐車状況をLINE@やFacebookにて配信することで、時間内にバスの運行を行えました。また、帰宅時の混乱を避けるために横断幕を作成し、遠くからも視認できるようにしたことで、スムーズな帰宅整理ができ、予定通りの交通規制解除を行うことができました。

#### 【渉外】

目標協賛金額3,700万円を達成する実績となりました。チケット販売に関しては

特別桟敷席を全席指定にしたことで、来場時の混雑を避けることができたとともに、近年猛暑となる夏の日差しを避けて来場される観覧者が多く見受けられました。また、もぎり場の混雑も少なく、スムーズな入場を行えました。

#### 【総括】

猛暑やゲリラ豪雨など天候に不安のある近年ですが、本年は天候にも恵まれ、晴天の中で開催することができました。観覧していただいたお客様からは音楽と花火が合っており感動したなどのお言葉を頂戴することができました。山形市の観光資源となってきた花火大会を多くの方々から支えていただきながら開催するこの山形大花火大会の良さを再認識することができ市民が率先してまちづくりに参加する意識とより強い郷土愛を醸成することができました。また、山形青年会議所の先輩諸兄が脈々と紡いできた一大事業であることをメンバー全員が強く認識し、山形市民の郷土愛を呼び覚ます市民意識変革団体として地域を牽引することができた大会となり、より強い絆を深めることができたと考えております。

#### ●8月第3例会(早朝清掃)

打上げ場所として提供していただいている山本学園様グラウンドを中心にお借りした関係各所の清掃も行い、感謝の気持ちを表すことができました。また本年も市民サポーター、ボーイスカウトの方々からもご協力をいただきましたが、お子様の数は昨年よりも多かったと感じました。次世代に繋ぐ事業として意味ある例会になりました。

また、地域の発展、環境にも配慮した未来の山形を見据えた魅力溢れる大会の創造へと繋げることができました。さらに運営側である山形青年会議所メンバーの責任として、早朝清掃が終了して大会の完了になることを十分に理解し、活動を通して今後の山形の発展に寄与する意識の高いリーダーを育成することを目的もできました。

#### ■事業目的に達しなかった点:

#### ●8月第1例会(お天気祭り)

懇親会時に、手持ち無沙汰なメンバーが若干出てしまったと感じます。協議の時点でも新入会員とシニアの先輩方のふれあいの場とするよう、ご意見いただいておりますが、積極的に促すべきであったと反省しております。各委員長への事前の声掛けが不足しておりました。

#### ●8月第2例会(花火大会)

①より多くの市民が率先してまちづくりに参加し、より強い郷土愛を醸成するような企画で今まで以上にJCCや市民サポーター巻込む必要があると感じました。

②山形青年会議所メンバーの出席率が100%の参加となりませんでした。より多くのメンバーに参加していただき、まちづくりに対する意識向上の機会となるよう努め

	<p>る必要があります。</p> <p>●8月第3例会(早朝清掃)</p> <p>参加人数計画に誤差が発生して時間内に清掃が完了することができませんでした。残ったゴミや燃えカスは午後から委員会メンバーにて撤去し最終確認まで行いました。例年よりも燃えカスが多く、広範囲に広がっていたような気がします。事実昨年よりも打上げ発数が多いことから想定しておく必要がありました。やはり決まった時間での活動になるためやはり人員確保が大事ですが、情報発信、各委員長への呼びかけなどが足りなかったと思います。</p>
<p><b>地域社会への影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>全国でも珍しい市民参加型の花火大会として39回を数える山形大花火大会は、地域の夏の風物誌として、市民に親しまれています。予算の関係などで開催が危ぶまれる地域の花火大会が多い中で、市民自らが運営側に立ち、開催される山形大花火大会は、山形市を象徴する事業として認知されるとともに、県外からの観光客を呼び込むものとして地域に広く浸透しているものであります。特に、山形大学JCCについては、山形大花火大会を契機として10年前よりサークルが設立され、年々活動人数が増加し、本年は170名を超える学生より参加をいただきました。県外出身者も多く占める同ボランティアサークルが山形大花火大会の運営に携わることにより、市民との交流を通して山形の魅力を知る機会になるとともに、学生の地元をはじめ県外への情報発信の機会にもなっている点で、本事業が地域社会への大きな影響を及ぼす貴重な場になっています。</p>
<p><b>LOMへの影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>山形大花火大会は、山形青年会議所の公益事業として中核をなす事業です。本事業の実施により、地域社会への青年会議所事業への理解、周知と、本事業を成し遂げることによる地域におけるリーダーシップの醸成を図る機会になる点で大きな影響を及ぼしています。</p>
<p><b>事業の長期的な影響</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>本事業が、これまで実施されてきたことによる地域社会での青年会議所への認知と理解促進の効果は高いものがあります。</p> <p>今後も引き続き継続していくことで、山形の明るい豊かな社会の実現に向けた取り組みが地域社会への働きかけをより促進していくものであると考えます。</p>
<p><b>考察や推奨</b></p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>山形の夏の風物詩として多くの方々から楽しんでいただいている山形大花火大会。本年は「満天～百花が織りなす光の饗宴～」の大会テーマのもと、無事に開催をさせていただきました。ドローンによる空撮や朝倉さやさんによる生歌花火をメインに企画し、晴天にも恵まれ多くの観覧者にお楽しみいただけた大会になったと考えます。一</p>



	<p>方、大会終了後のバス運行や、産業団地内に設けたSS席専用駐車場・タクシープールでの車両混雑など、今後さらに検証が必要な面も散見されました。</p> <p>本年は平成最後となる大会。そして、来年は第40回記念大会・山形市市制施行130周年を迎えます。新元号のもと最初の大会として大きく飛躍することを願います。</p>
<p><b>改善点</b></p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>① 山形大花火大会が山形青年会議所の一大事業である事をメンバー全体に強く周知し、より多くのメンバーに参加いただける様取り組む必要があります。</p> <p>② 特別栈敷席の席種を再考し、売れる席を増設する必要があり、会場レイアウトを再考する必要があります。</p> <p>③ スーパースペシャル席専用駐車場とタクシープールの併設は帰宅時の渋滞と混雑を招きました。どちらかの駐車場を別に確保する必要があります。</p> <p>④ 露店商の方々と、当日のアルコール販売銘柄などで認識の食い違いが発生しました。出店者説明会の際に必要な事項を記載し、誓約書などの取り交わしをする必要があります。</p>
<p><b>JCI活動計画の推進</b> <b>JCI VISION活動計画の推進</b> <b>JCI MISSION活動計画の推進</b></p>	<p>(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)</p> <p>BRIDGE to THE FUTURE～世界に繋がる</p> <p>山形の観光資源の一翼でもある山形大花火大会を県内外へ広く発信することにより、日本全国、世界各地から人々が集う魅力あるYAMAGATAIに向けて橋を架けます。</p> <p>BRIDGE to THE CURTURE～地域社会・文化に繋がる</p> <p>関係諸団体はじめ多くの市民サポーターと協働し構築していく市民先導型の山形大花火大会が地域社会の発展に寄与するとともに地域社会の連携強化へと橋を架けます。</p>
<p><b>添付資料</b></p> <p>PDF資料2MB、5ページ以内</p>	<p>(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)</p> <p><a href="#">添付資料(第39回山形大花火大会).pdf</a></p>

## 『満天』～百花が織りなす光の饗宴～

2018年度8月第1・第2・第3例会

### 「第39回山形大花火大会」

公益社団法人山形青年会議所は2018年8月14日火曜日に「8月第2例会第39回山形大花火大会」を反田橋付近にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この8月第2例会第39回山形大花火大会は山形市の観光資源の一翼を担う山形大花火大会を通して、やまがたの夏の風物詩を感動とともに体感していただき、率先してまちづくりに参加する意識とより強い郷土愛を醸成することを目的として開催されました。猛暑やゲリラ豪雨など天候に不安のある近年ですが、本年は天候にも恵まれ、晴天の中で開催することができました。観覧していただいたお客様からは音楽と花火が合っており感動したなどのお言葉を頂戴することができました。山形市の観光資源となってきた花火大会を多くの方々から支えていただきながら開催するこの山形大花火大会の良さを再認識することができ市民が率先してまちづくりに参加する意識とより強い郷土愛を醸成することができました。また、山形青年会議所の先輩諸兄が脈々と紡いできた一大事業であることをメンバー全員が強く認識し、山形市民の郷土愛を呼び覚ます市民意識変革団体として地域を牽引することができた大会となり、より強い絆を深めることができたと考えております。という結果、目的を達成する事ができました。

### 第39回山形大花火大会とは？

#### 詳細な事業内容

期日：2018年8月14日、15日

会場：山形大花火大会会場（須川河畔反田橋付近）

（事業内容）

#### ■大会テーマについて

大会テーマ『満天』～百花が織りなす光の饗宴～

今年のテーマ「満天」は、山形大花火大会へ来た観覧者の皆様が満天の夜空に打ち上がる花火を満天の笑顔で観覧して帰ってほしいとの願いを込めております。また、山形の観光資源としてまちの発展に大いに寄与し、今後も皆様に支持される花火大会にしたいという思いを込めさせていただいております。

写真1



写真2



写真3

